

第五十七回宗像歌会

平成三十年十一月十七日(土)

自由詠

おばあちゃん
せなか丸くなつてないよ
歩くの早いね
あいうえお上手ね
と、五歳の孫が

一田 千枝子

題詠『ボランティア』

他人のため？ 自分のため？
互いに心地よければ
それでいい
無理せず、ちょこつと
ボランティア

杉下 啓恵

今日という日は
一生に
一度だけの日
当り前のことが
胸にじーんと来た

映画「日は好日」

高原 美智子



足の爪
切つてあげたとき
そんなことさせて…と
身を縮めた姉
妹だよ、当たり前だよ

岡本 まさ子

朝
通学路に
はじける笑顔、笑顔、笑顔
清々しい緊張感のなか
見守る

一田 千枝子

感謝されるのが
目的ではないが
心を込めて人にやさしく
接するのは
いい気持ちのするものだ

宮島 かつえ

自分の幸せを
誰かに返したいの
友は
当り前のように
そう言った

高原 美智子

